

## 臨床研究へのご協力のお願い

東京医科大学(学長:林由起子)細胞生理学分野では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け承認の後、学長の許可のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。不参加のお申し出があった場合も、患者さんに診療上の不利益が生じることはありません。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

### [研究名称]

ミオシン重鎖 11 の早期動脈硬化性血管障害指標としての有用性の検証

### [研究の背景と目的]

現在、本邦では食生活や生活習慣の欧米化がより進んでおり、生活習慣病とそれに伴う重篤な病気にかかる患者さんの数が増えています。以前は病気になってはじめて治療に取り組むことが多かったのですが、昨今は病気にならないようにする「予防医学」の重要性が高まっています。従来の採血では生活習慣病の覚知は可能ですが、重篤な病気へのなりやすさまではわかりません。

この研究では、ミオシン重鎖 11(体内の血管の壁を構成する物質の一部分です)の蛋白濃度を採血で測定することにより、動脈硬化の進行を今までよりも早期に発見し、それによって重篤な病気発症の予防につながると仮定しています。ミオシン重鎖の測定値を、デスマシンとイソデスマシンという血管の壁を構成する他の物質を測定することで、さらにミオシン重鎖の値の重要性を検討します。

### [研究の方法]

研究対象者

以下の研究に参加されている方

[研究名称] ミオシン重鎖 11 の早期動脈硬化性血管障害指標としての有用性の検証

[承認番号] T2019-0220

研究期間: 研究機関の長の許可日から 2026 年 3 月 31 日

利用する検体

追加で行う採血項目(費用はかかりません) : デスマシン、イソデスマシン

患者さんから提供され既に東京医科大学細胞生理学分野にてマイナス 80 度で凍結保管さ

れている血液を用いてデスマシンとイソデスマシンを測定します。

これらの解析は東京医科大学細胞生理学分野、上智大学理工学部物質生命理工学科、または横浜市立大学医学部循環制御医学の実験場所として横浜市立大学先端医科学センター(生体資料取扱い;B161 実験室、Sample 調整等 204-207 実験室)にて行います。

#### 検体や情報の管理

研究台帳が作成され、研究協力いただく方に研究番号が割り振られます。その後は、個人が特定できない研究番号で資料やデータの保管、データの解析が行われます。

研究台帳は、東京医科大学循環器内科医局内の施錠できる保管庫に保管します。

患者さんから頂いた試料も個人が特定されないように研究番号で管理され、東京医科大学細胞生理学分野、上智大学理工学部物質生命理工学科、もしくは横浜市立大学医学部循環制御医学で実験に使用し、最終的に東京医科大学細胞生理学分野で保管されます。研究終了後5年間は保存し、その後は破棄します。研究結果は個人が特定されない形で論文として発表される予定です。

#### [実施体制]

研究責任者(研究代表者):

東京医科大学細胞生理学分野・主任教授  
(所属機関の長:学長 林由起子) 横山 詩子

研究分担者:

東京医科大学病院循環器内科・兼任教授	近森 大志郎
東京医科大学病院循環器内科・臨床助教	高橋 梨紗
東京医科大学病院循環器内科・教授	富山 博史
東京医科大学病院循環器内科・講師	椎名 一紀
東京医科大学病院循環器内科・講師	武井 康悦
東京医科大学病院循環器内科・講師	山下 淳
東京医科大学病院循環器内科・講師	松本 知沙
東京医科大学病院循環器内科・助教	岩崎 陽一
東京医科大学病院循環器内科・助教	中野 宏己
東京医科大学病院循環器内科・助教	藤井 昌玄
横浜市立大学医学部循環制御医学・教授	石川 義弘
上智大学理工学部物質生命理工学科・教授	臼杵 豊展

共同研究機関

横浜市立大学医学部循環制御医学・教授  
(機関の長: 学長 相原 道子) 石川 義弘

上智大学理工学部物質生命理工学科・教授  
(機関の長: 学長 曄道 佳明) 臼杵 豊展

#### [問い合わせ先]

横山詩子

〒160-0022 東京都新宿区西新宿 6-1-1 東京医科大学細胞生理学分野

電話:03-3351-6141 内線 248